

部落差別の歴史

現在の部落差別は、平安時代の『ケガレ観』から始まっているともいわれています。室町時代では、太鼓や馬具、庭造りなどの卓越した技術を持った人々に対する「異質性」が差別意識となって民衆にも広がりました。江戸時代には、身分制度が確立され、職業・住居も分けられ差別が固定化されていきました。明治時代に入り「解放令」によって、身分制度自体はなくなりましたが、残念ながら偏見や差別意識が残ったことにより、現在においても結婚や就職などに関する差別事象が報告されています。部落差別に対する正しい認識を持ち、人が作り出した差別を私たちの手でなくしていきましょう。



人権リーフレットへの 私たちの思い

中山小学校のリーフレット作りは、今年で10年目を迎えました。

私たちは、「日本の歴史に学ぶ」という総合的な学習の時間を中心に人権について考えました。そして、差別に負けず闘ってきた人々の生き方を知りました。学ぶうちに、だんだん差別が自分の身近に感じて、差別をなくしたいという思いが強くなりました。

このリーフレットを多くの方々に読んでいただき、みなさんと差別をなくしていききたいと思います。



協力 柳川市教育委員会人権・同和教育推進室

なかやま 人権リーフレット10



つくろうよ
優しさいっぱい 柳川市

柳川市では、人権問題への正しい認識が広がってきています。現在の大きな課題は、インターネット上で差別的な表現が後を絶たないことです。差別が見えなくなっていますので、差別について正しく知り、差別に気づくことが大切です。1日でも早く差別のない社会が実現できるように願っています。

柳川市立中山小学校6年
2020年3月

知っていますか LGBTQ性差別



みなさんは、LGBTQという言葉聞いたことがありますか？ LGBTQとは、多様な性を表す言葉です。私たちは、性による差別をなくすために活動されている当事者の方に話を聞きました。その方は、女性の体を持ち、男性の心をもっています。みなさんは、女の子が黒色のランドセルを選んだらどう思いますか。

「女の子なのに…」という思いをもちませんか。私は、その方の「性別で色を決めるのはおかしい」という言葉を覚えています。そして、世界中の人がありのままの自分で、生きていけたらいいなあと思います。そのためにできることをいっしょに考えていきませんか？

L:レズビアン、G:ゲイ、B:バイセクシュアル、T:トランスジェンダー-Q:クエスチョニング（性自認、性的指向を決めていない人）

すべての人が 使いやすく

みなさんは、このようなトイレを見たことがありますか？

例えば、もし、男性用・女性用と決められた

トイレに、女性だけど男性の心をもっている方は、どちらに入ったらよいのでしょうか？

右上のようなトイレがあることで、さまざまな方がトイレを使いやすくなりますよね。障がいがあるだけでなく、さまざまな方が気持ちよく過ごせるようにという考えから、このようなトイレの設置が少しずつ広がってきています。みなさんも、さまざまな立場で公共施設を見直してみてください。



すべての人の権利を 保障すること ～教科書無償運動に学ぶ～

知っていますか？

小中学校の教科書が無償になるように運動したお母さん達のことを。

差別で厳しい生活を送っていた人たちは教科書を子どもに買ってあげることができずにいました。差別で安定した仕事に就けない→生活が厳しい→教育を受けさせることができない→仕事に就けないという悪循環。

そんな生活の中でも、学習会をし、「(略)義務教育は、これを無償とする」という憲法を知り、教科書が無償にする運動を始めました。あきらめずに要求を続け、一部の人たちの教科書が無償になりました。しかし、目指したのは、すべての小中学生の教科書無償。「この運動は正しい」と全国に広がり、教科書無償が実現しました。